

『沙石集』 諸本の成立と展開

【本文編】

土屋 有里子

『沙石集』諸本の成立と展開 目次

〔本文編〕

序章	『沙石集』伝本研究の課題と展望	1
はじめに	2	
第一節	『沙石集』伝本概観	2
第二節	伝本研究の問題点	6
第三節	伝本研究の展望	7
第一部	古本系諸本の成立——十二帖本——	11
第一章	俊海本概観	12
はじめに	12	
第一節	俊海本の伝来	12
第二節	俊海本の構成	13
おわりに	16	
第二章	俊海本からの改変	18
はじめに	18	
第一節	極楽往生について	18
	一、卷一第十条「或浄土門行人軽神明蒙其殃事」	
	二、『興福寺奏状』からの連想	
	三、加筆の問題	
第二節	不可解な改変	31
	一、信西関連説話	
	二、裁判説話	
おわりに	36	
第二部	古本系諸本の展開——十帖本——	37
第一章	梵舜本の考察	38
はじめに	38	
第一節	増補本としての可能性	39
	一、構成上の問題点	
	二、東福寺関連の増補典籍	
	三、東福寺との関係	

	四、まとめ	
第二節	梵舜本の特質―巻五・巻六・巻八を中心として―	51
	一、巻五末の問題点	
	二、巻六の特質	
	三、巻八の特質	
おわりに		67
第二章	成實堂文庫本の考察	69
はじめに		69
第一節	五帖本の再検討	69
	一、新出成實堂本について	
	二、阿岸本について	
	三、真福寺本について	
	四、吉川本について	
	五、五帖本総括	
第二節	成實堂本の構成	79
	一、書誌	
	二、構成	
	三、諸本との関連	
第三節	成實堂本巻二の考察	90
	一、巻二の構成	
	二、地蔵菩薩関連説話の異同	
	三、弥勒行者事	
	■成實堂本巻二第七条「弥勒行者臨終目出事」翻刻	95
第四節	成實堂本裏書の問題―巻四・巻五を中心として―	97
	一、巻四第一条「無言上人事」	
	二、巻四第二条以降の問題	
	三、巻五上	
	四、巻五下	
	五、成實堂本裏書の性格	
	■成實堂本巻四第一条「無言上人事」裏書 翻刻	112
第五節	成實堂本巻九の考察	114
	一、巻九の構成	
	二、成實堂本と刊本との関係	

	三、成實堂本と米沢本・梵舜本との関係	
	四、成實堂本卷九の性格	
	■成實堂本卷九 翻刻	126
第六節	成實堂本卷十の考察	147
	一、卷十上	
	二、卷十下	
おわりに		153
第三部	古本系諸本から流布本系諸本へ	
	——流布本系諸本の初期的問題——	154
第一章	内閣文庫本の考察	155
はじめに		155
第一節	内閣文庫本の構成	155
	一、書誌	
	二、内容	
第二節	内閣第一類本裏書の性格	161
第三節	内閣文庫本の特質	172
	一、裏書の注者	
	二、増補された経典と改訂作業	
おわりに		181
第二章	長享本の考察	183
はじめに		183
第一節	長享本の伝来	183
第二節	長享本の識語——卷二と卷四——	186
第三節	長享本の特徴	189
	一、卷三と卷五について	
	二、卷九について	
おわりに		198
終章		200
底本一覽		204

〔資料編〕

一、無住關係略年表	1
二、『沙石集』說話対照目次表①	6
三、『沙石集』說話対照目次表②	9
四、『沙石集』和歌一覽	13
五、『雑談集』和歌一覽	19
六、内閣文庫蔵『沙石集』翻刻	22

凡例	23
卷一	24
卷二	38
卷三	58
卷四	77
卷五	94
卷六	119
卷七	127
卷八	143
卷九	155
卷十	171